2014年 1月のアンガージュマンの予定

利用については電話でお問合せ下さい。見学も大歓迎！

月(Mon)	火(Tue)	水(Wed)	木(Thu)	金(Fri)	土(Sat)	日(Sun)
みなさん 体調に気をつけて、楽しい冬休みを過ごしてくださいね！		1 ※	2 ※	3 ※	4 ※	5 ※
6 ※ 学習サポート	7 ※ 学習サポート	8 12:00 昼食会(350円) 学習サポート	9 学習サポート	10 14:00 簿記講座 学習サポート	11 ※ 山形物産市（はるかぜ書店前）	12 ※ 14：00～16：00 保護者会
13 ※	14 学習サポート	15 12:00 昼食会(350円) 学習サポート	16 学習サポート	17 14:00 簿記講座 学習サポート	18 ※	19 ※
20 学習サポート	21 15:00 絵本のよみきかせ @はるかぜ書店 学習サポート	22 12:00 昼食会(350円) 学習サポート	23 学習サポート	24 14:00 簿記講座 学習サポート	25 ※	26 ※
27 学習サポート	28 学習サポート	29 12:00 昼食会(350円) 学習サポート	30 13:00～17:00 クラフトDay @harucafe 学習サポート	31 14:00 簿記講座 学習サポート		

今月のボランティア募集

参加希望の方はご連絡下さい。
046-801-7881　担当　石川隆博

各事業は以下の日程で再開します。

ネクスト　1/6～　デッチボウコウ　1/6～
あばうと　1/8～

イベント	日付	定員	主な活動内容
はるかぜ書店	平日9:00～11:00	２名	品出し、陳列、配達
ﾌﾘｰｽﾍﾟｰｽ	平日10:00～16:00	５名	話やゲームの相手、ともに過ごす
物産市	1/11	３名	物品販売、品物陳列、チラシ配布
通信発送作業	1/31	５名	通信の折り、封入、封止め
下校時の防犯	平日14:40～16:00	２名	町内の巡回、見守り

振込先金融機関名　変更のお知らせ

当法人の取引金融機関が、平成２６年１月６日をもって名称を変更致します。

現　三浦藤沢信用金庫　　新　かながわ信用金庫

支店名・店番・口座番号に変更はありません。
振込カードをご利用の場合は、改めて作成していただく必要があります。
その他、ご不明の点はお問合せ下さい。

2014年(平成26年)
1月1日　発行

アンガージュマンとはフランス語で社会参加という意

Le Engagement

Engagement Yokosuka

ＮＰＯ法人アンガージュマン・よこすか
発行所：〒238-0017神奈川県横須賀市上町2-4　電話：046-801-7881
http://npoey.com/(ホームページ)　発行責任者：島田徳隆　編集責任者：石井利衣子
http://blog.canpan.info/engagement/(ブログ)　info@npoey.com(メール)

第119号

新年のご挨拶

旧年中はお世話になりました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。日頃から皆さまよりご指導、ご支援を賜り、新たな年を迎えることができましたことを感謝いたします。本年も精一杯活動に取り組んで参ります。先日スタッフの川亦が一週間が早い、とつぶやいていましたが、私も同感です。亀の歩みだと自分では思っているのですが、せめてこれまでどおり一日を大切に過ごしていきたいと考えています。

さて、本年の初頭に思うことは色々あるのですが、昨年アンガージュマンにとって一番大きなことを記してみようと思います。それは神奈川県立保土ヶ谷高校より一年間の派遣研修で川亦ノンタン氏(以降ノンタン氏と書きます)が来た、ということです。彼は決して希望して来たわけではない、と言います。しかし、アンガージュマンにここまで馴染んでいる人は今までにもそう多くはいません。うちに来たからには色々な経験をしてもらおう、と当初考えていたのですが、今ではそれを意識することはありません。それほど日常に溶け込んでいるからです。

アンガージュマンのスタッフは様々な業務に関わることになります。書店をやったり、若者の研修をしたり、フリースペースで子どもたちとのんびり過ごしたり、学習の講師もします。それだけでなく、商店街の諸事に関わったりと、色々な人が出入りするので臨機応変に行動しなくてはなりません。ノンタン氏はその全てを体験してもらっています。それぞれの仕事は切り替えが大変です。子ども、若者に接する時にも丁寧な対応が求められます。しかも、特にマニュアルがあるわけでもなく、スタッフ各々の力量と個性に委ねられるところが大きい為、苦心することは多いと思います。大人や社会に対して懐疑的であったり傷付いている子どもたちは、中々心を開くことはありません。しかし、彼の関わりはとても自然で、子どもたちともすぐに打ち解けました。

学校のように複数の子どもたちと関わる現場から、一対一のように個別で関わる現場に移り、対応がかなり変わります。それに順応するだけでも大変なことですが、一対一での関わりは濃厚な人間関係になりますから、距離感を保つことは容易ではありません。ノンタン氏と帰り際によく一人ひとりの状況について立ち話をすることがありますが、実に熱心に、親身になって接していると感じます。所属の学校現場でも同様であることは簡単に想像がつきます。

１１月に表彰されたかながわ子ども子育て支援特別賞の申請はノンタン氏にお願いしました。利用者に関わる以外にもＮＰＯを運営していく上で必要な業務があることを知って欲しいと考えてのことです。我々の活動の特徴をとらえてアピールをしたことが受賞につながったことは、大変ありがたいことです。

ノンタン氏のアンガージュマン生活は残り三カ月。きっと、突っ走ってくれることと思います。そして、そのあとも…。皆さまもノンタン氏の後に続くべく、私たちの活動に伴走、ご支援よろしくお願い致します。

ＮＰＯ法人アンガージュマン・よこすか　理事長　島田徳隆

簿記講座　3級合格しました！

「簿記」聞き慣れない言葉かも知れません。お小遣い帳や家計簿など、お金のやりくりをしたことのある方は、多少馴染みがあるかもしれません。昨年、理事の高橋さんがはるかぜ書店研修生向けに経営を講義されたの受けて、実践的な簿記を、研修生に講義してみてはとお話しをいただきました。資格としての簿記は、個人商店に目を向けているので、はるかぜ書店で研修する上でも大切な知識と実務ということで、高橋さんから引き継ぎ、簿記講座（日商簿記３級レベル）を始めることになりした。

簿記には、日常では用いない言いまわし、法的用語、数学の公式のような取り決めを理解することが必要になります。それぞれ初めて目にする難解な分野に、悪戦苦闘しながらも果敢に挑戦してくれました。

11月には、学習を継続し、試験を受けてくれた若者もいました。講習での取り組む姿勢も素晴らしかったのですが、それ以上に、試験日までの限られた期間で、自分を追い込むストイックな姿勢、集中力の高さに驚きました。自分のなかに蓄えていた潜在的な力を、思う存分発揮していたと思います。

試験後、結果が出るまでの間、終わった試験問題を繰り返し、やり直し、模範解答で答え合わせをすると、合否ラインギリギリでした。試験が終わった後の方が、より熱心に、簿記に取り組んでいるように思えたほどでした。どちらに転んでもおかしくはない状態に、少し後悔もあったのでしょう。

発表当日、「受かりました」と連絡をもらいました。開放感のある、なんともすがすがしい声で、いい響きが耳に残っています。

講座を始めてから、はるかぜ書店を巣立っていった若者は多く、現在受講生は２名になりました。彼らが次のステージに向かったのと同様に、簿記の学習は個人商店から、中小企業・大企業の株式会社会計へと変わっていきます。「２級を取らなきゃ」の気持ちに促されて、新た学習が始まりました。その声は、企業（起業）への目覚めのようにも聞こえています。

石川隆博

プログラミング講座　はじめてでも、かんたんだニャ～！

今月から日本教育大学院大学の斉藤准教授にお越しいただき、全4回の予定でプログラミング講座が始まりました。既に２回が実施され、現在３名が受講しています。プログラミング講座といっても、難しいプログラミング言語を覚えることが目的ではありません。初心者でも、難しいことを覚えることなく結果を得られるような、遊び心がちりばめられた教育用プログラミングツール「SCRATCH」というものを使って、プログラミングの考え方やコンピュータの扱いになれるということが第一の目的となっています。

初めは、画面上のネコにプログラムを使って歩かせたり、回転させたり、鳴き声を出させたり、数を数えさせたり、という基本的な課題に沿って思い通りに動かしてみます。今後は応用に入り、それぞれのアイディアでオリジナルの作品を作っていく予定です。

簡単に操作出来て、その場で結果が見えることもあってか、ゲームなどに親しみのある参加者は、初回から熱中モードに入っていました。参加者の中には、テキストを持ち帰って独学で終わらせてしまった人までいます。

教育の中でも情報教育は比較的新しい分野ですが、これからの時代を生きる子どもたちにとって必須のものとなりつつあります。　プログラミングを生活の中でやる必要がなくても、プログラミングされたコンピュータを使う機会は無数にあります。コンピュータの扱い方や、基本的な考え方などを今回の講座を通して体感してくれれば、とても意義ある時間になると思います。参加者は随時募集していますので、子どもだけに限らず大人の方も是非ご参加ください。
途中からでも全然大丈夫です。

機材の都合がありますので、参加ご希望の方は
スタッフまでご連絡ください。

【今後の講座予定】
第3回　1月7日(火)13:00～
第4回　1月14日（火）13:00～

フリースペースのこたつで
ノートパソコンを開いています。
こんな講座風景も
アンガージュマンならでは!?

※SCRATCHとは、MITメディアラボが開発したプログラミング言語学習環境であり、インタラクティブアニメーション、ゲームなどの製作を通してさらなる学習のやる気を起こさせることを意図している。

ボランティア　ボランティア活動を通して、仕事への道を模索

昨年10月から月２回ぐらい、相模原からボランティアに来てくれる青年がいます。地元にアンガージュマンのようなＮＰＯを作りたいという思いを持ってくれていました。仕事を辞めて、社会福祉士の試験を受けるとも言っていました。就職を考えるうえで、幅を広げて、障害者福祉施設を何件か回ったそうですが、若者と関わる仕事にこだわりたいと、先日想いを伝えてくれました。

ボランティア活動に参加する動機は人それぞれですが、彼のように、ボランティア活動を活用して、自分のしたい仕事に近づくことができるのも、ボランティア活動のもつ特性といえるでしょう。キャリア教育全盛ですが、インターンシップもボランティア活動の一部を特化させたプログラムともいえると思います。

石川隆博

忘年会＆クリスマス会　おいしく　楽しく　にぎやかに☆

一年のしめくくりとして、12/25にクリスマス会を行いました。長野理事にもご協力いただき、特大ケーキやローストチキンを用意し、さらに手作りのサラダやパエリヤも並ぶという豪華版。あばうと、ネクスト、OBやボランティアさんにスタッフも含めて計29人！　フリースペースがぎゅうぎゅうですが、おいしく食べて楽しく過ごしました。

また、12/20には忘年会も行い、こちらも地元商店街の方も含め24人が集まり、賑やかな一夜となりました。

石井利衣子

横須賀市立総合高校見学会

12月６日（金）に横須賀市立横須賀総合高校の見学に行ってきました。３名の参加者にスタッフも同行しました。参加者のほとんどが初めて訪れたこともあり、横須賀総合高校のゴージャスさにびっくりしてきました。

同校は、2003年に横須賀市立の普通科、商業科、工業科の３校を統合して出来た新しい学校で、あらゆる施設はまるで大学のようでした。校内は靴のままで出入り自由、教室はガラス張りで見通しがよく、アリーナと呼ばれる普通の2倍くらいの体育館、ラウンジ、ホール、カフェ風の食堂など子供たち以上にスタッフの方が学生生活を思い描いてワクワクしてしまいました。見学の際は、教頭先生に案内してもらいました。ホールのような廊下から、授業の様子なども見ることができました。

見学の後に教頭先生から詳しい説明や質疑応答の時間も作っていただきました。子どもたちは緊張した面持ちで話しを聞いていましたが、高校生活のことを少しイメージできたのではと思います。

高校生活への気持ちも高まったことで、受験まで残りわずか！　体調管理をしっかりして、人生の中でそんなに何回もあるわけではない受験勉強を楽しみながらやれるといいですね。

個人的には、昨年度まで働いていた学校という場所のはずが、今回は保護者の様な気持ちで訪れたので、学校を外から見ることが出来て、とても新鮮でした。

川亦伸治

第７回かながわ子ども子育て支援特別賞　横須賀市長　表敬訪問

先月号の通信でもお知らせした通り、かながわ子ども子育て支援特別賞の受賞を受け、12月3日、吉田雄人横須賀市長を表敬訪問致しました。

地元上町の商店街と連携した子ども・若者支援の取り組みが評価されたことをご報告し、今後もより一層、地域に根差した活動を続けていくことをお話させて頂きました。

←記念撮影（左から、石井・吉田横須賀市長・川亦・島田）